

昭和 43 年度

事業報告書

自 昭和 43 年 4 月 1 日
至 昭和 44 年 3 月 31 日

昭和43年度事業報告(43.4.1~44.3.31)

社団法人 日本病院協会

第1 庶務

1. 一般事項

- 1) 7.22 理事登記完了(昭和43年3月29日就任の再任理事41名、新任理事12名計53名)
- 2) 昭和43年短期人間ドック実施病院の指定 山田総合病院以下13病院。

第2 陳情

- 1) 3.18 看護婦養成機関への国費導入の要望書提出

第3 会議

1. 定期総会

5.30 東京都文京区春日1-16-21 文京公会堂

1) 報告事項

昭和42年度事業報告に関する件

2) 承認事項

昭和42年度歳入歳出決算に関する件

2. 臨時総会

3.25 東京都千代田区二番町2番地 番町共済会館

1) 承認事項

昭和44年度事業計画案に関する件

2) 議決事項

昭和44年度歳入歳出予算案に関する件

3. 評議員会

5.30 東京都文京区春日1-16-21 文京公会堂

1) 報告事項

昭和42年度事業報告に関する件

2) 承認事項

昭和42年度歳入歳出決算に関する件

4. 理事会

5.28 東京都千代田区二番町2番地 番町共済会館

1) 議案

- (1) 日本病院協会病院人材センターについて
- (2) 医師確保対策

5.30 東京都文京区春日1-16-21 文京公会堂

1) 報告事項

昭和42年度事業報告に関する件

2) 承認事項

昭和42年度歳入歳出決算に関する件

7.19 東京都千代田区二番町2番地 番町共済会館

1) 議案

各国の病院制度研究会

2) 報告事項

第1回欧米病院視察参加者について

9.24 東京都千代田区二番町2番地 番町共済会館

1) 議案

- (1) わが国の病院制度を如何に改むべきか
- (2) 病院への寄付金に対する課税問題

2) 報告事項

- (1) 各地の病院協会の現況
- (2) 病院人材センターの現況

1.28 東京都千代田区二番町2番地 番町共済会館

1) 議案

- (1) 昭和43年度収支の見通しと臨時会費について
- (2) 昭和44年度事業計画案に関する件
- (3) 昭和44年度歳入歳出予算案に関する件
- (4) 昭和43年度臨時総会開催に関する件

(5) 病院危機突破の具体策に関する件

(6) 日病案「わが国の病院制度を如何に改むべきか」の件

5. 常務理事会

昭和43年度における常務理事会開催 18回

第4 部会、研究会

1. 診療管理部会

4. 4 国立東京第二病院ほか 産科病棟見学

4.1 6 番町共済会館 給食の外注について

5.2 1 東京女子医大付属第二病院 大学病院の運営のあり方

7.1 6 東京厚生年金病院 医療評価について

8.2 0 番町共済会館 病歴管理より見た診療統計

9.1 7 厚生中央病院 最近経験した医療訴訟事件並びに2.3の医療紛争と対策

1 0.1 5 都立梅ヶ丘病院 児童科精神病院の諸問題

1 1.1 9 東京警察病院 病院における医学研究について

1 2.1 7 東京女子医大消化器センター 心臓専門病院のあり方(特にC.C.Uについて)

1.2 1 関東通信病院 病院職員の健康管理について

2.1 8 社保中央病院 総合病院の地域社会実地医家とのコミュニケーションについて

3. 8 北品川総合病院 診療の合理化について

2. 事務管理部会

4.1 2 関東通信病院 医療過誤について

7.1 2 癌研付属病院 人件費の適正について

8. 9 番町共済会館 病院の経営に成功した2.3の事例について

9.1 8 鴨川グランドホテル 病院の危機に対する今後の対策

1 0.1 1 東京警察病院 病院の危機に対する今後の対策

1 1. 8 番町共済会館 病院の経営について

1 2.1 3 番町共済会館 各職種毎のノルマに応じた褒賞制

1.1 0 番町共済会館 2大夜勤、1ヶ月8日以内夜勤にどう対処するか

2.1 4 番町共済会館 問題職員の扱い方

3.1 4 番町共済会館 時局講演会

3. 医事研究会

- 5.1 2 佼成病院 医事課で困っている問題の解決策
- 6.2 1 御殿場東山荘 医事部門と他部門との接点の研究
- 8.2 1 関東通信病院 保険請求事務再検討
- 1 0.1 8 番町共済会館 外来会計方式について
- 1 2.1 8 虎ノ門病院分院 医事課業務に必要な関連法規について
- 2.1 9 東医健保会館 保険請求の完全算定の実際

4. 栄養管理研究会

- 4.1 6 番町共済会館 給食の外注について（診療と合同）
- 6. 4 駿河台日大病院 二食制の検討
- 8. 6 佼成病院 給食部門における患者サービスの限界
- 1 0.2 9 虎ノ門病院 生鮮食品の購売管理について
- 1 2. 3 東京警察病院 給食部門における労務管理
- 2. 4 北品川総合病院 二食制の実際

5. 看護管理部会

- 5. 7 佼成病院 与薬について
- 7. 2 武蔵野赤十字病院 看護記録について
- 9. 3 聖路加国際病院 看護体制とICUについて
- 1 1. 5 横須賀共済病院 最近の看護用品とその工夫
- 1. 7 番町共済会館 看護勤務体制
- 3. 4 関東通信病院 看護職員の確保対策

6. 病院管理総合部会

- 4.2 0 葛飾赤十字産院 新生児の取扱上おこる事故とその防止策
- 5.1 8 伊藤病院 整形外科のリハビリテーションについて
- 6.2 2 足立田園病院 低所得者層入院の問題点及び医師と患者の人間関係
- 7.2 0 富士病院 病院構造への現代精神治療法導入による利点欠点
- 8.1 7 北品川総合病院 真の看護とは
- 9.2 1 北多摩病院 自動車損害賠償保険請求事務
- 1 0.2 6 ロイヤル病院 特別室の差額徴収と患者の取扱いについて
- 1 1.3 0 北品川総合病院 病院の防火対策と実演
- 1 2.2 1 敬愛病院 医療機械設備と採算制について

- 1.1 8 枚世軍ブース記念病院 病院におけるポランチャ活動について
- 3.1 5 京北病院 受付業務について
- 7. 薬事管理部会
 - 6. 5 番町共済会館 診療と院内製薬について
 - 8. 7 駿河台日大病院 病院経営と薬事統計について
 - 1 0. 2 日本赤十字中央病院 保存血液の取扱いについて
 - 1 2. 4 番町共済会館 薬剤業の近代化装備について
 - 2. 5 東京警察病院 薬剤過誤防止について
- 8. 庶務人事研究会
 - 5.2 2 番町共済会館 職場規律確立(その3)
 - 7.2 4 番町共済会館 (1) 宿日直について
 - (2) 変形勤務時間について
 - (3) 時間外勤務の考え方と手当について
 - 9.2 5 同愛記念病院 労働基準法に関する日常業務の解釈について
 - 1 1.2 7 船橋中央病院 作業量と人員関係について
 - 1.2 2 番町共済会館 職員採用管理について
 - 3.2 6 番町共済会館 病院における職員数の調査について
- 9. 用度研究会
 - 4.2 5 佼成病院 用度部門における統計とその報告について
 - 6.2 1 聖路加国際病院 フィルムの購入価格について
 - 8.1 6 番町共済会館 医薬品の購入価格について
 - 1 0.1 8 日本光電KK 工場見学及び医療用の電子について
 - 1 2.2 0 番町共済会館 地方勉強会の報告について
 - 2.2 1 癌研付属病院 備品管理について
- 1 0. 施設研究会
 - 4.2 4 東京医大同窓会館 施設に関する職場教育
 - 6.2 6 虎ノ門病院 冷房を主とした空気調節
 - 1 0.2 3 北品川総合病院 熱管理について
 - 1 2.1 8 癌研付属病院 設備を主体とした防火管理について
 - 2.2 6 番町共済会館 施設の年間保守計画について

1 1. 会計経理研究会

- 5.1 5 太田総合病院 未収金について
- 9.2 8 富士銀行事務センター 電子計算機の現状と将来
- 1 1.2 1 東京警察病院 経営分析について(その1)
- 1.1 4 癌研付属病院 経営分析について(その2)
- 3.1 9 東京衛生病院 減価償却について

1 2. 放射線管理部会

- 4.2 6 東京女子医大付属病院 急患と当直の問題
- 6.2 8 関東労災病院 急患とX線科当直の問題
- 8.2 3 東京日立病院 放射線科の事務的諸問題
- 1 0.2 5 都立大久保病院 放射線科の事務的諸問題(その2)
- 1 2.1 7 東京警察病院 放射線科の機器類の管理について
- 2.2 8 東医健保会館 放射線科より見た保険点数の問題点について

1 3. 臨床検査管理部会

- 4.1 0 番町共済会館 新入技師の受入れと教育
- 6.1 2 佼成病院 臨床検査の精度管理
- 8.1 4 番町共済会館 看護との関連
- 1 0. 9 駿河台日大病院 病院内の環境衛生の臨床検査科の役割
- 1 2.1 1 番町共済会館 医事課との関連について
- 2.1 2 番町共済会館 昭和43年度アンケート集計結果について

1 4. 病歴研究会

- 4.1 3 順天堂医院 国際疾病分類の改正について(その2)
- 7.1 3 関東通信病院 病歴室業務統計及び医療評価のための統計の数値の教え方と計算法について
- 1 0.1 2 社保中央病院 スtockホルムの国際学会に出席して
- 1.1 1 東京警察病院 病歴士に必要な臨床検査の常識

1 5. ハウスキーピング部会

- 8.2 2 関東通信病院 ハウスキーピングの現状
- 1 0.2 4 社保中央病院 清掃の外注について
- 1 2.1 9 虎ノ門病院 洗濯の外注について

2.27 東医健保会館 病院における塵芥処理について

第5 地方勉強会

1. 庶務人事研究会

- 6.28 札幌市 (1) 職員教育について
(2) 職場規律と労基法の運用について

2. 会計経理研究会

- 7.12 静岡市 (1) 源泉課税の内、現物給与その他の取扱いと処理方法について
(2) 医業未収金について
(3) 経営分析について

3. 事務管理研究会

- 自 7.25 青根町 (1) 事務長と医師との干係
至 7.27 (2) 事務長と他部門との関連
(3) 職員教育訓練
(4) 人手不足対策
(5) 院内のとりまとめ

4. 施設研究会

- 8.9 松江市 (1) アンケート集計結果の解説
(2) 建物の保安全管理について
(3) 電気設備の保安全管理について
(4) 給排水、衛生設備の保安全管理について
(5) 空調設備の保安全管理について
(6) 施設担当職員の教育訓練について

5. 栄養管理研究会

- 8.30 盛岡市 「給食業務のあり方」
(1) 院長の立場から
(2) 栄養部長の立場から
(3) 事務長の立場から
(4) 栄養士の立場から
(5) 自由討議
a 成人病に対する栄養指導
b 人員管理と委託問題

6. 診療管理研究会
- 9.12 岡山市 川崎病院見学
シンポジウム
- (1) 医師不足対策
 - (2) 医師と看護婦の関係
 - (3) 外来診療
 - (4) 入院診療
 - (5) 診療の評価
7. 病歴研究会
- 9.13 大阪市
- (1) 日本の病歴のあり方
 - (2) アメリカの病歴のあり方
 - (3) 国際学会の報告
8. 放射線管理研究会
- 9.14 神戸市
- (1) 放射線科の自動化について
 - (2) 技師の立場から見た放射線科の管理運営について
 - (3) 管理者から見た放射線科の管理運営について
9. 薬事管理研究会
- 10.30 名古屋市
- (1) 薬品の購入について
 - (2) 病棟診療室における薬品安全管理について
10. 医事研究会
- 11.30 松山市
- (1) 医事課業務と医師及び看護婦との連繋
 - (2) 保険請求事務の再検討
11. 用度研究会
- 11.19 福岡市
- (1) 用度課の総論について
 - (2) 購買の手段と価格について
 - (3) 補給と在庫管理について
12. 臨床検査管理研究会
- 11.22 宮崎市
- (1) 検査技師の受入れと再教育
 - (2) 臨床検査の稼働と精度の管理
 - (3) 設備と器械器具の保有について

1 3. 看護管理研究会

- 1 2. 6 下 関 市 (1) 院内教育について
(2) 看護業務の能率化について

1 4. 病院管理総合部会

- 2.1 5 神 戸 市 (1) 二食制について
(2) 上手な保険請求の仕方
(3) 甲、乙二表の検討
(4) 中小病院の合理的経営
(5) 税務対策

第 6 短期人間ドック研究会

自 9.2 0 東 京 都 第 9 回短期人間ドック研究会
至 9.2 1

第 7 臨床検査セミナー

- 1 1.3 0 京 都 市 臨床検査セミナー
1 2. 1 京 都 市 臨床検査実地講習会

第 8 人事院式病院監督者研修会

自 2.1 6 湯河原市 参加者 3 4 名
至 2.2 0

第 9 委 員 会

1. 編集委員会

毎月 1 回定期開催

2. 病院制度委員会

自 8. 4 湯河原町他 3 回
至 8. 5

3. 臨床予防医学委員会

- 1.1 1 東 京 都 (1) 人間ドック反復実施者の経年変化追及について
(2) 1 0 周年記念、続人間ドック出版について
(3) 最近の人間ドックの成績について

第 1 0 第 1 回欧米病院視察団

9.1 ~ 9.3 0 (3 0 日間) 1 行 2 6 名

第11 第2回アメリカ病院看護研究団

5.8～5.21(14日間) 1行30名

第12 病院管理視察研究会

10.16.17.18.19(4日間) 福島県、山形県、宮城県

第13 日本病院学会

1) 第18回日本病院学会

5.29.30.31(3日間) 東京都文京公会堂

2) 日本病院学会評議員会

5.29 東京都勤労福祉会館

第14 図書出版

母親学級テキスト第6版 5,000部

保健叢書第3版 5,000部

病院栄養管理 1,000部

続アメリカの病院看護 500部

病院職員の身だしなみと礼儀 1,000部

以上

(資料 2)

昭和43年度歳入、歳出決算書

自 昭和43年4月1日

至 昭和44年3月31日

歳入総額 22,234,654円

歳出総額 22,234,654円

差引額 0円

社団法人 日本病院協会

歳入の部

歳入科目	歳入額円	予算額円	予算額に対する比較(△減)円	摘要
1. 会費	13,756,000	12,282,000	1,474,000	
(1) 会費	11,865,200	12,282,000	△416,800	649病院納入
(2) 43年度臨時会費	1,890,800	0	1,890,800	401病院納入
2. 寄付金	100,000	100,000	0	
(1) 寄付金	100,000	100,000	0	
3. 雑収入	8,343,409	5,260,000	3,083,409	
(1) 雑収入	6,119,039	3,260,000	2,859,039	ドック部会費等859,000事務部 会費299,985勉強会及びセミナー -4,557,494利子その他 402,560
(2) 雑誌収入	2,224,370	2,000,000	224,370	
雑誌	593,690	500,000	93,690	有料購読料毎月150冊
広告料	1,630,680	1,500,000	130,680	
4. 繰越金	35,245	0	35,245	
(1) 前年度繰越金	35,245	0	35,245	
歳入総額	22,234,654	17,642,000	4,592,654	

歳出の部

歳出科目	歳出額円	予算額円	予算額に対する比較(△減)円	摘要
1. 事務費	12,208,329	9,857,000	2,851,329	
(1) 職員給与	4,872,609	4,320,000	552,609	職員1名増のため
俸給	2,955,320	2,670,000	285,320	
諸手当	1,917,289	1,650,000	267,289	期手、時間外手当、通勤、職務手当
(2) 厚生費	537,003	327,000	210,003	社保、退手積立金
(3) 旅費交通費	1,912,336	1,400,000	512,336	各地勉強会旅費
(4) 物品費	665,665	200,000	465,665	
備品	301,484	50,000	251,484	机12ヶ椅子20ヶ衝立1ヶ カーテン、プロデクター等購入
消耗品	364,181	150,000	214,181	封筒(大・中・小)名札、法規差替
(5) 役務費	4,220,716	3,110,000	1,110,716	
印刷製本費	983,115	800,000	183,115	会員名簿、各地勉強会資料、理事会、 総会資料他
光熱・水料	0	0	0	借料損料を含む
通信運搬費	1,206,190	950,000	256,190	各地勉強会案内、会員獲得案内他
雑役務費	547,215	400,000	147,215	
借料・損料	1,484,196	960,000	524,196	事務室、会議室分
2. 会議費	533,709	300,000	233,709	
(1) 総会	211,612	100,000	111,612	2回分
(2) 役員会	322,097	200,000	122,097	
(3) 諸会議	0	0	0	
3. 事業推進費	3,168,819	1,640,000	1,528,819	
(1) 委員会	3,088,959	1,490,000	1,598,959	定例部会、各地勉強会々場費、 懇談会、委員総会等
(2) 調査研究費	0	50,000	△ 50,000	
(3) 資料整備費	59,860	50,000	9,860	
(4) 渉外雑費	20,000	50,000	△ 30,000	報道関係
4. 学会	300,000	300,000	0	
(1) 日本病院学会	300,000	300,000	0	
5. 広報費	5,356,779	5,410,000	△ 53,221	
(1) 雑誌発行費	5,325,849	5,360,000	△ 34,151	

歳出科目	歳出額円	予算額円	予算額に対する比較(△減)円	摘要
編集費	875,931	1,000,000	△ 124,069	
印刷費	3,663,978	3,760,000	△ 96,022	
発送諸費	785,940	600,000	185,940	送料値上げ
(2) 広報雑費	30,930	50,000	△ 19,070	
6. 諸会費	610,827	535,000	75,827	
(1) 国際病院連盟	317,327	185,000	132,327	1969年度会費増
(2) 全国公私連他	293,500	350,000	△ 56,500	公私連263,500 内科学会10,000 J.S.T 20,000
7. 繰越金	56,191	0	56,191	
(1) 翌年度繰越金	56,191	0	56,191	手許金56,191
8. 予備費	0	100,000	△ 100,000	
(1) 予備費	0	100,000	△ 100,000	
歳出総額	22,234,654	17,642,000	4,592,654	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和44年4月7日

監事 村田 嘉彦 ㊟

財 産 目 録

昭和44年3月31日現在

資 産 の 部

現 金	手元保有高	5 6, 1 9 1 円
郵便貯金	甲府貯金局	6 3 0, 0 0 0 円
振替貯金	麴町郵便局	0 円
銀行貯金	富士銀行麴町支店	0 円
電話加入権	(811)4371→265→0077 (814)9533→265→0078	2 6 7, 6 9 1 円
什器備品		5 9 7, 0 7 4 円

資 産 合 計 1, 5 5 0, 9 5 6 円

負 債 の 部 0 円

什 器 備 品 内 訳

品 名	単 位	数 量	価 格	備 考
机	個	1 9	2 2 3, 5 0 0	会議用12個
椅子	脚	4 1	1 4 9, 3 0 0	会議用35個
卓子	個	2	1 0, 0 0 0	
書棚	〃	5	3 5, 6 0 0	
側置	〃	6	5 5, 2 0 0	
ロッカー	〃	2	2 9, 0 0 0	
カーテン	枚	6	5 0, 0 7 4	
衝立	個	1	1 2, 0 0 0	
プロセクター	台	1	2 1, 5 0 0	
食器棚	個	1	1 0, 9 0 0	
合 計			5 9 7, 0 7 4	

(その他)

財産目録

社団法人 日本病院協会

1. 郵便貯金	630,000円	267.3
2. 電話加入料	267,691円	
3. 什器備品	597,074円	
合計	1,494,765円	

什器備品内訳

机	19個	223,500円
椅子	41脚	149,300円
卓子	2個	10,000円
書棚	5個	35,600円
側置	6個	55,200円
ロツカー	2個	29,000円
カーテン	6枚	50,074円
衝立	1個	12,000円
フック	1台	24,500円
食器棚	1個	10,900円
合計		597,074円

昭和44年3月31日現在

① 10/14 ✓ カ-テン 2枚 38,140-
 ② 10/22 ✓ " 4枚 11,934-
 ③ 10/17 ✓ 長机 124 11,000 132,000
 ④ " ✓ 椅子 254 @ 300/ 110,000
 75,000

3/31 (5) ✓ ソフトウェア 1台 21,500 21,500-

① 10/17 ✓ 椅子 14 12,000 12,000

3/3 (0) 食器棚 14 @ 10,900- 10,900-

(資料 1)

昭和44年度事業計画(案)

社団法人 日本病院協会

方針

本年度は、対内的には前年度の事業内容を更に発展せしめ、地方活動を増強して会員の増加に努めると共に、対外的には、医療保険抜本対策を巡る環境に対処して専ら病院医療の向上をめざす。

事業

1. 病院の管理運営及び施設の改善向上

診療管理部会……………毎月第3火曜開催
事務管理部会……………毎月第2金曜開催
病院管理総合部会……………毎月第3土曜開催
薬事管理部会……………偶数月第1水曜開催
看護管理部会……………奇数月第1火曜開催
栄養管理研究会……………偶数月第1火曜開催
医事研究会……………偶数月第3水曜開催
庶務人事研究会……………奇数月第4水曜開催
用度研究会……………偶数月第3金曜開催
施設研究会……………偶数月第4水曜開催
会計経理研究会……………奇数月第3水曜開催
放射線管理部会……………偶数月第4金曜開催
臨床検査管理部会……………偶数月第1木曜開催
病歴研究会……………3カ月毎第3土曜開催
ハウスキーピング部会……………偶数月第4木曜開催

2. 病院関係者の教育・指導

衛生検査技師講習会 11月
監督者教育要員の訓練教育

3. 病院の公衆衛生活動

短期人間ドック研究会及び講習会 8月28・29日 仙台市
短期人間ドックの推進
妊婦ドック・主婦ドック・育児相談の推進
臨床予防活動実施病院の増加

4. 薬品及び食品等病院用品の調査研究

事務管理部会、栄養管理研究会、看護管理部会、用度研究会、庶務人事研究会などにて
研究

5. 病院事業の国際的活動

第3回アメリカ病院看護研究団 11月

国際病院連盟理事国としてのはたらき

海外見学の斡旋、紹介

6. 病院学会

日本病院学会 5月21・22・23日 水戸市

7. 政府その他関係団体との連絡協議

政府、医師団体、開設別病院団体、保険者団体、看護団体との連絡緊密化

8. 雑誌と刊行物

雑誌の充実、出版物の刊行

9. 各地にて開催の研究会

病院管理視察研究会 10月大分県、宮崎県、鹿児島県

各種研究会 全国20カ所で開催(札幌、秋田、山形、仙台、京都、
高松、広島、小倉か八幡、熊本他)

病院見学研究会 群馬県、栃木県

10. 病院制度の研究

委員会にて研究

11. 病院原価計算要綱の改訂

委員会にて作成

12. 医療費値上げに関する運動

13. 労務対策の研究

研究会の随時開催及び部会での研究

14. 会員獲得のための運動

(資料 2)

昭和44年度歳入歳出予算(案)

昭 44. 4. 1~45. 3. 31

社団法人 日本病院協会

歳入総額 22,235,000円

歳出総額 22,235,000円

歳入の部

歳入科目	昭和44年度予算額 円	昭和43年度歳入 見込額 円	前年度比 (△印 減)	摘 要
1. 会 費	13,710,000	13,430,000	271,000	1会員平均18,300×750 前年度665会員に 85会員を獲得することにて計上
(1) 会 費	13,710,000	11,930,000	1,771,000	
(2) 臨時会費	0	1,500,000	△ 1,500,000	
2. 寄付金	100,000	100,000	0	
(1) 寄 付 金	100,000	100,000	0	健保連より学会への寄付金
3. 雑収入	8,425,000	7,119,786	1,305,214	ドック部会費及指定料865,000 事務部会費340,000
(1) 雑 収	6,355,000	5,088,766	1,266,234	都内勉強会費760,000 地方勉強会費340,000 セミナー他650,000 利子他340,000
(2) 雑誌収入	2,070,000	2,031,020	38,980	
雑 誌	570,000	564,070	5,930	山口県病協他 月150部
広 告 料	1,500,000	1,466,950	33,050	
4. 繰越金		35,245	△ 35,245	
(1) 前年度繰越金		35,245	△ 35,245	
合 計	22,235,000	20,694,031	1,540,969	

歳出の部

歳出科目	昭和44年度予算額 円	昭和43年度歳出 見込額 円	前年度比 (△印 減)	摘 要
1. 事務費	12,554,000	11,278,361	1,275,639	
(1) 職員給与	5,470,000	4,923,531	546,469	常勤6名
俸 給	3,464,000	2,997,878	466,122	
諸 手 当	2,006,000	1,925,653	80,347	職手120,000 時間外300,000 通手190,000 期手1,276,000 報奨金120,000
(2) 厚生費	548,000	474,525	73,475	健保120,000 厚年9,000 失保38,000 退手積立300,000
(3) 旅費交通費	2,179,000	1,721,296	457,704	地方勉強会2,000,000 都内勉強会他119,000 病院管理視察60,000
(4) 物品費	300,000	384,431	△ 84,431	
備 品	100,000	246,934	△ 146,934	複写器購入
消 耗 品	200,000	137,497	62,503	封筒、洋紙、文具類、新聞等
(5) 役務費	4,057,000	3,774,578	282,422	
印刷製本費	695,000	819,679	△ 124,679	勉強会通知・アンケート450,000 総会50,000 委員名簿・PR版他195,000
通信運搬費	1,058,000	975,515	82,485	勉強会関係385,000 電話料300,000 各種の通知他878,000
雑役務費	312,000	496,344	△ 184,344	振替手数料、宛名カード書料、清掃料、フィルム代、 法人税他
借料損料	1,992,000	1,483,040	508,960	月166,000×12

歳出科目	昭和44年度予算額 円	昭和43年度歳出 見込額 円	前年度比 (△印減)	摘 要
2. 会議費	369,000	527,655	△ 158,655	
(1) 総会	73,000	230,704	△ 157,704	会場費他
(2) 役員会	293,000	296,951	△ 951	
3. 事業推進費	2,642,000	2,749,089	△ 107,089	
(1) 委員会	2,522,000	2,625,374	△ 103,374	地方勉強会々場費240,000 懇談会300,000 委員会100,000 都内勉強会々場費477,000 セミナー1,000,000 委員反省会185,000 その他 290,000
(2) 調査研究費	50,000	50,000	0	各制度委員会の研究調査
(3) 資料整備費	50,000	58,665	△ 3,665	" 資料購入
(4) 渉外雑費	20,000	20,000	0	報道関係
4. 学会費	300,000	300,000	0	
(1) 日本病院学会	300,000	300,000	0	協会200,000 健保連100,000
5. 広報費	5,560,000	5,212,476	358,524	
(1) 雑誌発行費	5,523,000	5,151,546	374,454	
編集費	1,054,000	956,581	97,419	速記料382,000 編委154,000 座談会156,000 原稿謝礼412,000
印刷費	3,920,000	3,756,961	163,039	会員増加
発送諸費	552,000	438,004	113,996	発送手数料72,000 郵送料480,000
(2) 広報雑費	40,000	60,930	△ 20,930	広告関係
6. 諸会費	704,000	626,500	77,500	
(1) 国際病院連盟	340,000	333,000	7,000	
(2) 全国公私連	344,000	293,500	50,500	
(3) J S T	20,000	0	20,000	
7. 予備費	100,000	0	100,000	
合 計	22,235,000	20,694,081	1,540,919	

1-スエト木スビルに著「丸」ときは著「医師
が丸」に控平をいしれ朝は早く大きか声に
挨拶をいしは、薬局には大きき丸の薬が
あり患者は十分とす。工礼物に江は丸
は感心しました。

会長 暑熱なく本日 総会を終り世に舞ります。
夏遠きを初め丸とす。

大城局長

二丸に閉会とします。